

**東京カンテイ、各都道府県の新築マンションにおける駐車場・駐輪場の設置状況を調査**  
**一般的な駐車場形態は「平面式」「機械式」 大半の新築マンションでいずれかを採用**  
**「電気自動車用コンセント」の設置率は全国平均で13.7%、今後さらに普及する可能性も**

新築マンションでの駐車場形態や各新設備がどのような割合で採用・設置されているのかについて調査を行った。なお、ここでは複数の駐車場形態もしくは新設備を併用している物件についてはそれぞれで集計している。

全国で2010年～2014年の5年間に分譲された新築マンションの中で最もポピュラーな駐車場の形態は、維持費がかからない「平面式」で、実に8割超の物件で採用されていた。駐車場スペースの確保が容易な地方圏で多く採用されていることも一因ではある

三大都市圏&地方圏 主要都府県別 新築マンションにおける駐車場形態シェア(2010年～2014年)

		平面	機械	タワー	自走・地下	自走・立体
首都圏	東京都	78.5%	41.9%	1.7%	0.8%	0.9%
	神奈川県	77.6%	77.4%	3.0%	1.4%	2.2%
	合計	79.7%	51.1%	1.9%	0.8%	2.0%
近畿圏	大阪府	71.7%	62.2%	8.8%	0.6%	10.8%
	兵庫県	73.2%	74.9%	4.2%	1.0%	3.9%
	合計	74.8%	66.4%	6.1%	0.7%	7.2%
中部圏	愛知県	87.1%	60.4%	3.7%	1.5%	7.5%
	合計	87.2%	58.4%	4.7%	1.2%	6.9%
地方圏	福岡県	92.1%	48.3%	1.4%	0.4%	4.8%
	合計	91.3%	42.6%	5.3%	0.4%	3.9%
全国		81.9%	52.3%	3.5%	0.7%	3.5%

※複数の駐車場形態を有する物件についてはそれぞれの形態で集計

が、都市圏においても大きなシェアを示していることから、2006年12月に施行された「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」(バリアフリー新法)によって新築時に車いす使用者用駐車場を設置するケースが増えてきている影響が大きいとみられる。次いで、「機械式」を採用している新築マンションは5割超となっており、こちらも一般的な形態と言える。一方、それ以外の形態が採用されている例はかなり少なく、「自走式・地下」に至っては高級マンションなどの極々限られた物件にしか採用されていないために、シェアも0.7%と非常に小さい。

近年、新築マンションでは“所有から共有への意識の変化”や“次世代自動車の登場”などによって新たな設備が普及し始めている。「カーシェアリング」は全国平均で4.2%、行政によって早期から普及促進に取り組んできた神奈川県でも1割に及んでいない。「電気自動車

三大都市圏&地方圏 主要都府県別 新築マンションにおける各新設備の設置率(2010年～2014年)

		カーシェアリング	電気自動車用コンセント	レンタサイクル
首都圏	東京都	4.1%	7.1%	5.3%
	神奈川県	8.3%	17.2%	10.0%
	合計	5.4%	9.6%	6.8%
近畿圏	大阪府	5.9%	20.9%	6.9%
	兵庫県	3.2%	17.9%	2.9%
	合計	4.3%	19.2%	4.6%
中部圏	愛知県	1.9%	27.8%	4.1%
	合計	1.6%	27.1%	4.0%
地方圏	福岡県	2.4%	11.3%	0.8%
	合計	1.8%	15.8%	4.1%
全国		4.2%	13.7%	5.7%

※カンテイアイ本誌では各新設備での数値に他の設備のデータがそれぞれ誤って記載されております。上表ならびに併記した説明文が正しいものとなります。お詫びして訂正致します。

用コンセント」は全国での設置率が13.7%と高く、一部では20%を大きく上回っている。今後、電気自動車やプラグインハイブリッド車の普及が全国的に進んでいけば自ずと設置率も伸びてくることが考えられる。入居者の家族構成やライフステージの変化によって生じる駐輪場不足の問題を最小限に留めるべく、最近では初めから「レンタサイクル」を導入するケースも増えてきてはいるが、こちらも全国平均で5%台と本格的な普及には至っていない。